

地震・津波 県民意識調査 沿岸地域の経年変化等の概要



徳島県では、「南海トラフ巨大地震」や「中央構造線活断層帯」を震源とする直下型地震の発生が危惧されています。特に「南海トラフ巨大地震」については30年以内に70％程度の確率で発生すると言われており、揺れや津波で大きな被害が出るとの想定がされています。

このような大災害の被害を最小限に抑えるためには県民、地域、行政が「自助」「共助」「公助」の責務と役割を理解し、互いに連携して災害に備えることが大切です。

県民の方々の地震防災への関心や備えなどの現状や、行政機関への要望を把握し、今後の地震防災の施策に反映するため、地震・津波についての意識調査を3年に1回程度おこなっています。平成16年から平成24年までは沿岸市町を対象に、平成27年度は全県域を対象に実施しました。

この調査で明らかになった様々な課題については「徳島県南海トラフ・活断層地震対策行動計画」の取り組みを推進するための重要な基礎資料として活かしていきます。

【平成27年度調査の概要】

■調査地域	徳島県全域	■調査対象者	20歳以上の県民 5,000人
■抽出方法	無作為抽出	■調査時期	平成27年8月
■調査方法	郵送による	■有効回答率	43.4％（2169件）

徳島県危機管理部とくしまゼロ作戦課

〒770-8570 徳島市万代町1-1 Tel: 088-621-2710

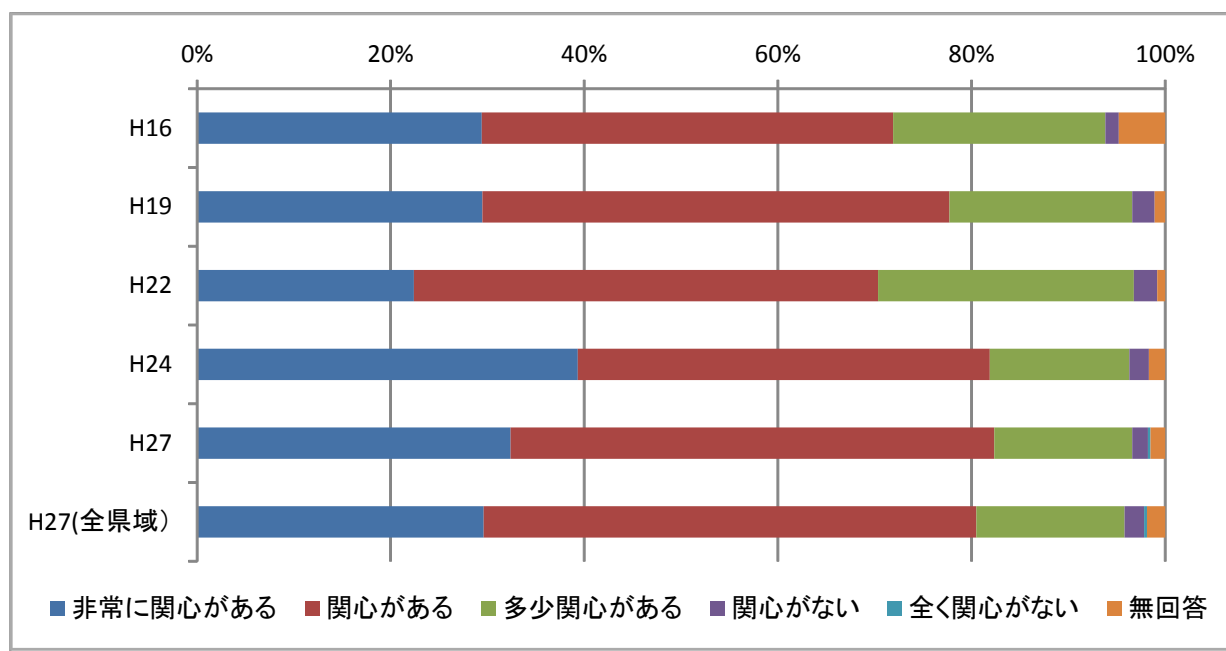
E-Mail: tokushimazerosakusenka@pref.tokushima.lg.jp

南海トラフ巨大地震への関心

Q 南海トラフ巨大地震にどの程度関心を持っていますか？

これまでの調査を通じて高い関心度を維持しており、今回も96.6%の人が関心があると回答しています。一方で東日本大震災後(H24)4割近くの人が「非常に関心がある」と回答していましたが、今回は6.9ポイント減少しました。

	H16	H19	H22	H24	H27	H27全県域
非常に関心がある	29.4%	29.5%	22.4%	39.3%	32.4%	29.6%
関心がある	42.5%	48.3%	48.0%	42.5%	50.0%	50.9%
多少関心がある	21.9%	18.9%	26.4%	14.4%	14.2%	15.3%
関心がない	1.4%	2.3%	2.4%	2.0%	1.6%	2.0%
全く関心がない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.3%
無回答	4.8%	1.1%	0.8%	1.7%	1.5%	1.9%



※ H16からH27までは沿岸域を対象としています。

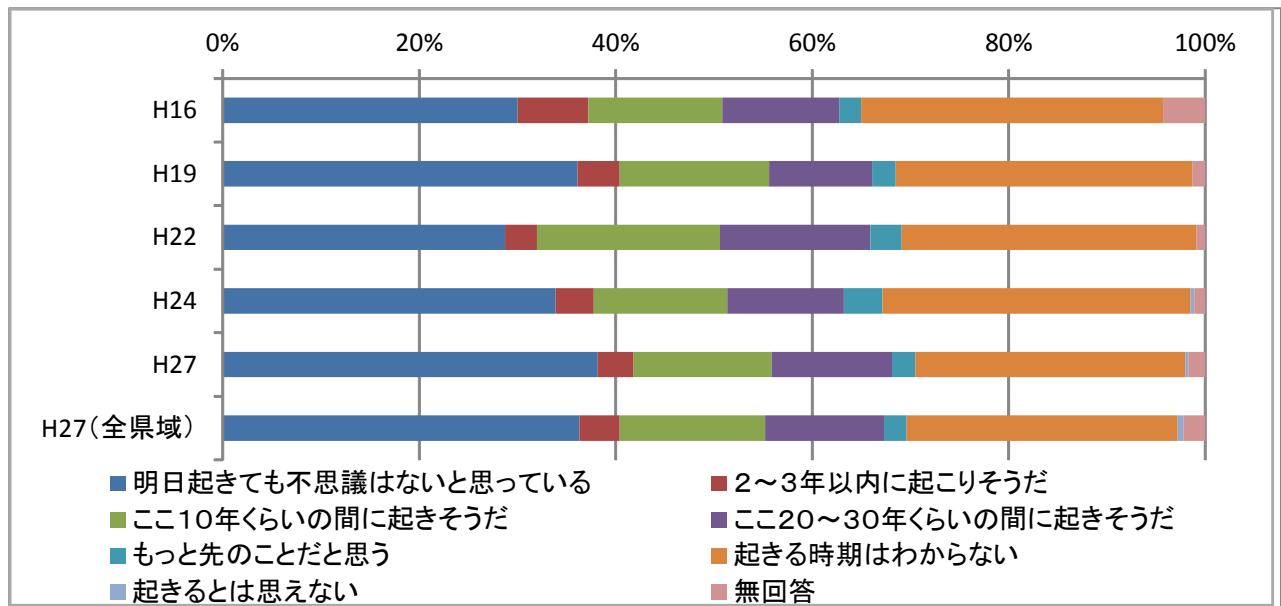
※ H27全県域は参考資料です。

南海トラフ巨大地震が起こる可能性

Q 南海トラフ巨大地震が起こる可能性についてどのように思っていますか？

「明日起こっても不思議ではない」と回答した人が38.2%と前回と比べ、4.3ポイント上昇しています。経年で比較すると東日本大震災以降、県民の地震に対する意識が増してきています。

	H16	H19	H22	H24	H27	H27 全県域
明日起きてても不思議はないと思っている	30.0%	36.1%	28.7%	33.9%	38.2%	36.3%
2～3年以内に起こりそう	7.2%	4.3%	3.3%	3.9%	3.6%	4.1%
ここ10年くらいの間に起きそう	13.6%	15.2%	18.6%	13.6%	14.1%	14.8%
ここ20～30年くらいの間に起きそう	11.9%	10.5%	15.3%	11.9%	12.2%	12.1%
もっと先のことだと思う	2.2%	2.4%	3.2%	3.9%	2.4%	2.3%
起きる時期はわからない	30.7%	30.2%	30.0%	31.4%	27.5%	27.6%
起きるとは思えない	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.3%	0.6%
無回答	4.3%	1.3%	0.9%	1.1%	1.7%	2.2%

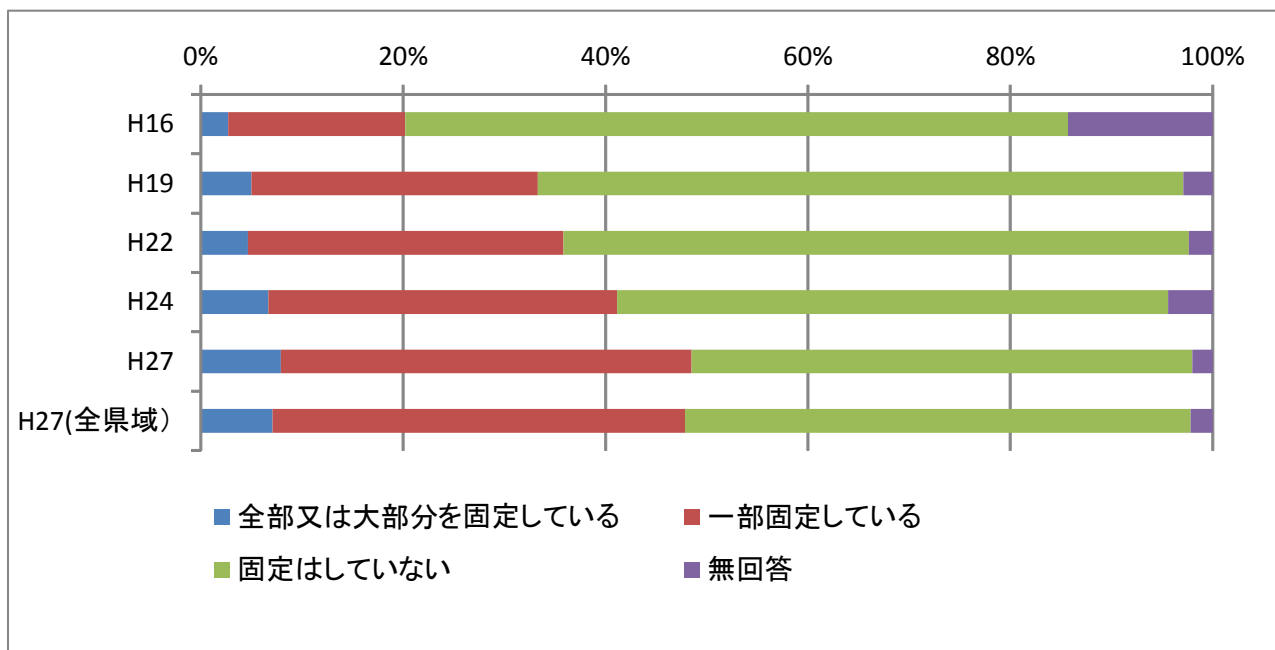


家具の固定

Q お宅では家具の固定をしていますか？

「固定している」「一部固定している」と回答した人が48.5%と半数近くを占めています。経年で比較すると増加傾向にあり、特に東日本大震災以降の増加率が大きく、家具の固定が徐々に浸透しています。

	H16	H19	H22	H24	H27	H27全 県 域
全部又は大部分を固定している	2.7%	5.0%	4.7%	6.7%	7.9%	7.1%
一部固定している	17.5%	28.3%	31.2%	34.5%	40.6%	40.8%
固定はしていない	65.5%	63.8%	61.8%	54.5%	49.5%	50.0%
無回答	14.3%	2.9%	2.3%	4.4%	2.0%	2.2%

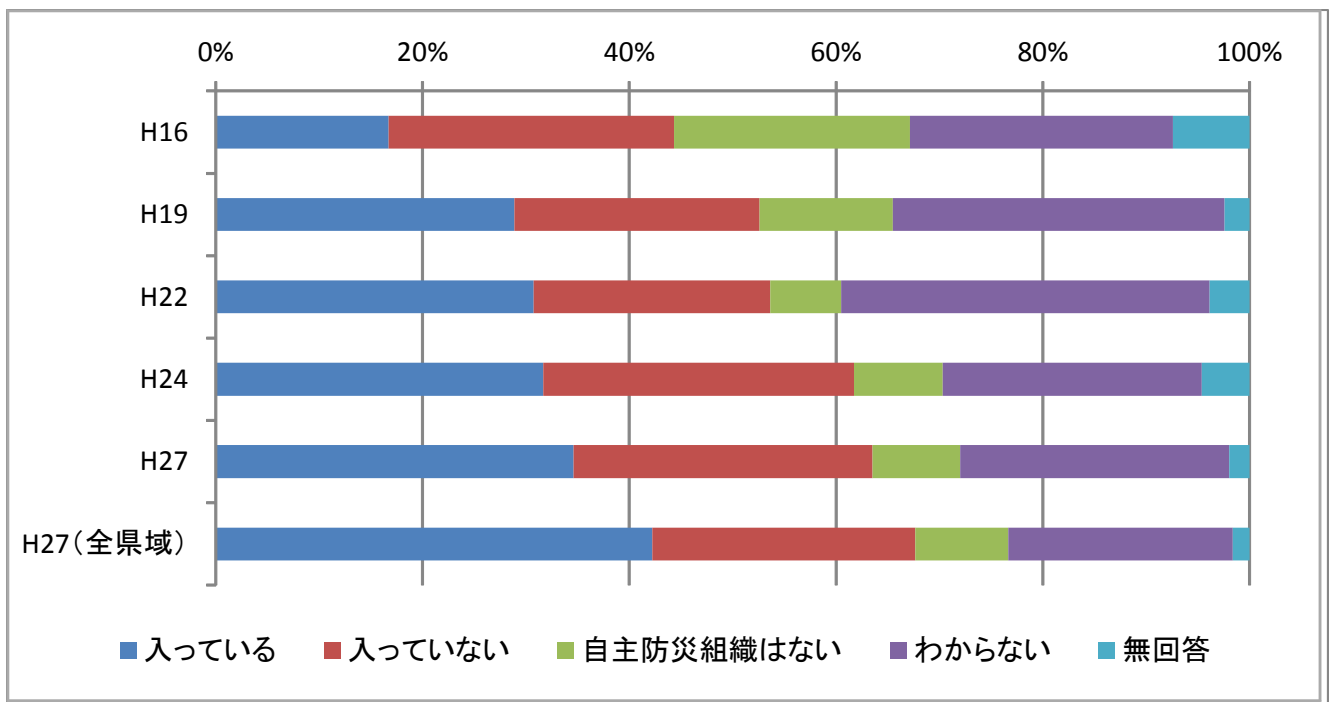


自主防災組織への加入

Q 地域の自主防災組織に加入していますか？

「入っている」と答えた人が34.6%となっています。経年で比較すると加入率は増加傾向にあり、自主防災組織が根付いている地域が徐々に増えています。

	H16	H19	H22	H24	H27	H27全県域
入っている	16.7%	28.9%	30.7%	31.7%	34.6%	42.2%
入っていない	27.6%	23.7%	22.9%	30.1%	28.9%	25.4%
自主防災組織はない	22.8%	12.9%	6.9%	8.6%	8.5%	9.0%
わからない	25.4%	32.1%	35.7%	25.1%	26.0%	21.7%
無回答	7.4%	2.4%	3.8%	4.6%	2.0%	1.6%

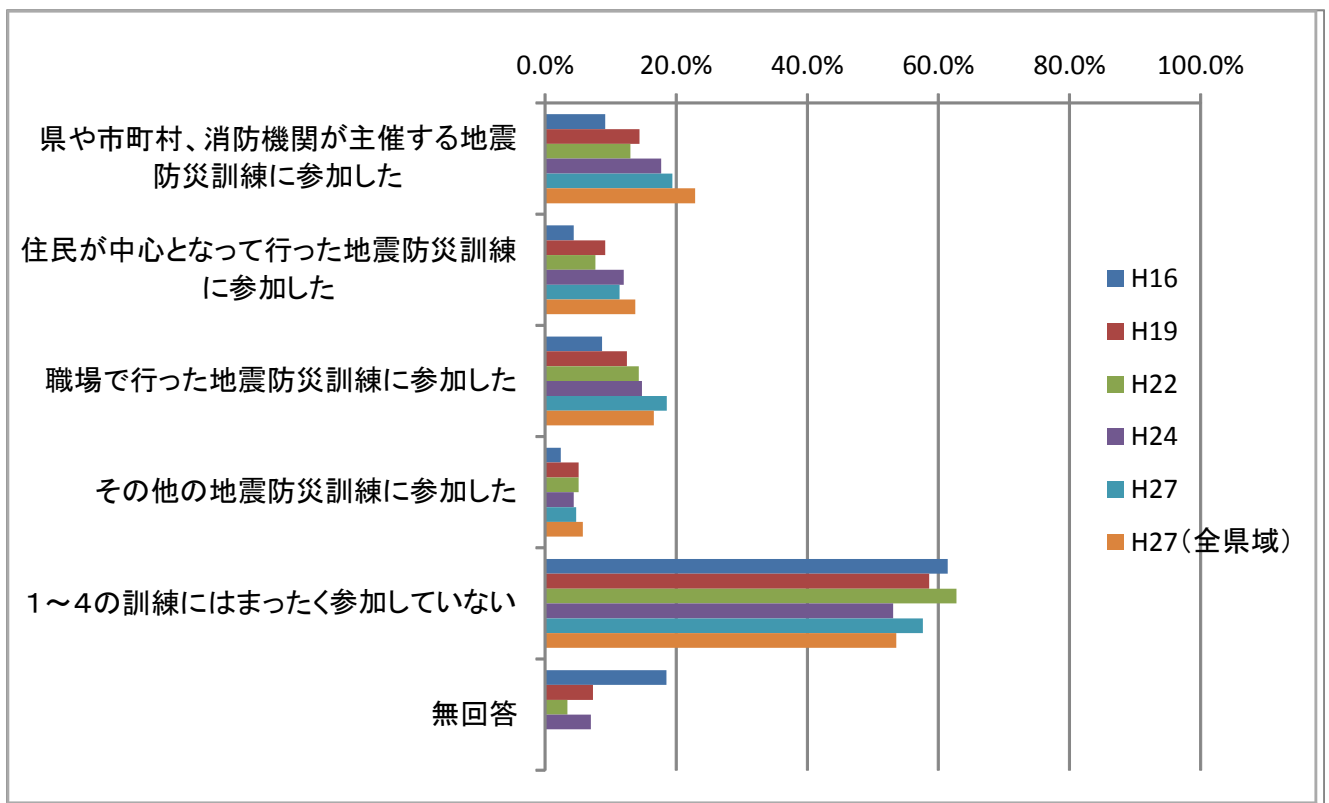


地震防災訓練への参加

Q 過去1年間に地域や職場の地震防災訓練に参加しましたか？（複数回答）

様々な訓練が行われ、参加している人が徐々に増加しています。一方、「訓練にはまったく参加していない」と回答した人が57.6%と、全体として減少傾向にはあるものの、半数を超えています。

	H16	H19	H22	H24	H27	H27 全県域
県や市町村、消防機関が主催する地震防災訓練に参加した	9.2%	14.4%	13.0%	17.7%	19.4%	22.9%
住民が中心となって行った地震防災訓練に参加した	4.4%	9.2%	7.7%	12.0%	11.4%	13.8%
職場で行った地震防災訓練に参加した	8.7%	12.5%	14.3%	14.8%	18.6%	16.6%
その他の地震防災訓練に参加した	2.4%	5.1%	5.1%	4.4%	4.7%	5.8%
訓練にはまったく参加していない	61.4%	58.6%	62.7%	53.1%	57.6%	53.6%
無回答	18.5%	7.3%	3.4%	7.0%	0%	0%

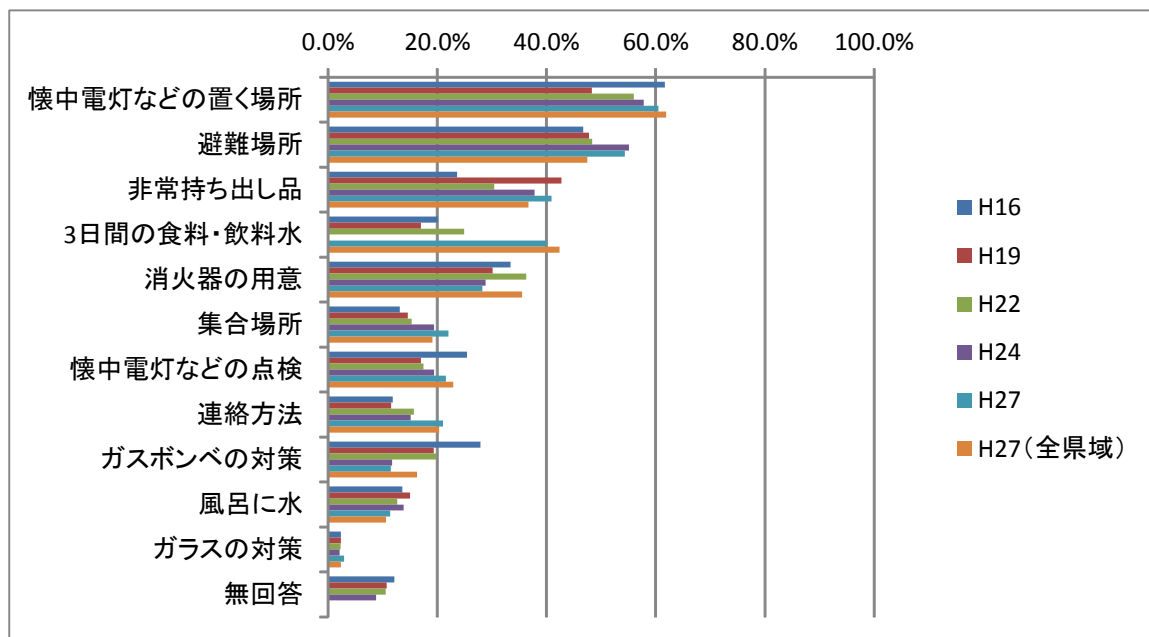


家庭で行う地震防災対策

Q お宅では地震に備えてどんな地震防災対策を行っていますか？(複数回答)

最も多かったのが「懐中電灯や携帯ラジオなどを置く場所を決めている」で60.5%の人が回答しています。次いで「地震が起きたとき避難する場所を決めている」が54.4%となっています。「避難に関する対策」が増加しています。

	H16	H19	H22	H24	H27	H27 全県域
懐中電灯や携帯ラジオなどを置く場所を決めている	61.7%	48.3%	56.0%	57.8%	60.5%	61.9%
地震が起きたとき避難する場所を決めている	46.7%	47.8%	48.4%	55.1%	54.4%	47.5%
非常持ち出し品を用意している	23.6%	42.7%	30.4%	37.8%	40.9%	36.7%
自宅には、地震後、家族が3日間食べていけるだけの食料や飲料水が常にある	20.1%	17.0%	24.9%	—	40.0%	42.4%
消火器を用意している	33.4%	30.1%	36.3%	28.8%	28.2%	35.5%
家族がバラバラになったときに集合する場所を決めている	13.1%	14.6%	15.3%	19.4%	22.1%	19.1%
懐中電灯や携帯ラジオの電池交換など点検をこまめにしている	25.4%	17.0%	17.5%	19.4%	21.5%	22.9%
家族の連絡方法を決めている	11.8%	11.5%	15.7%	15.1%	21.0%	20.3%
ガスボンベを倒れないようにしている	27.9%	19.3%	19.7%	11.7%	11.5%	16.3%
風呂にいつも水を入れている	13.6%	15.0%	12.6%	13.8%	11.4%	10.6%
ガラスが壊れて飛び散らないよう防災対策をしている	2.3%	2.3%	2.3%	2.1%	2.9%	2.3%
無回答	12.1%	10.7%	10.5%	8.8%	0.0%	0.0%

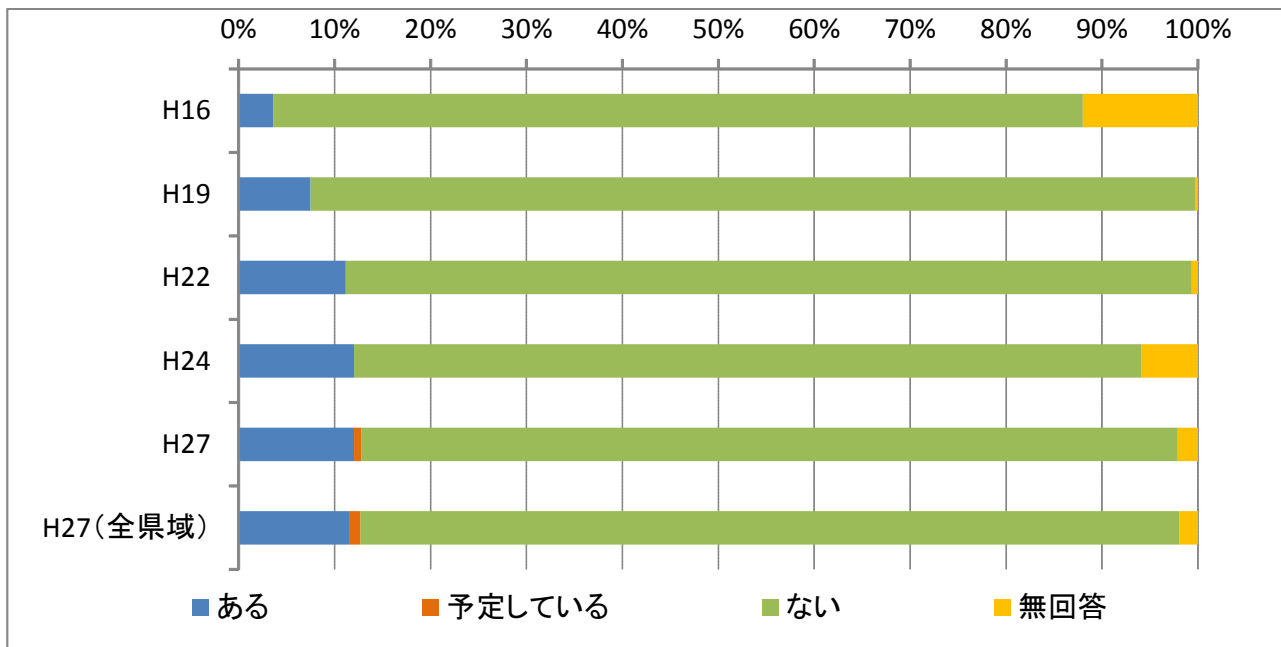


耐震診断の受診

Q ご自宅について、専門家による耐震診断を受けたことがありますか？

耐震診断を受診したことが「ある」または「予定している」と回答した人は12.8%となっています。前回調査と比べて同水準となっています。

	H16	H19	H22	H24	H27	H27 全県域
ある	3.6%	7.5%	11.2%	12.0%	12.0%	11.5%
予定している	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	1.2%
ない	84.4%	92.3%	88.2%	82.0%	85.0%	85.4%
無回答	12.0%	0.3%	0.6%	5.9%	2.1%	1.9%



○耐震診断の受診件数

- ・H24年度から平成27年12月末までの全県における耐震診断受診件数は5,622件で全戸数の約1.9%です。
- ・H24年度から平成27年11月末までに全県における新規住宅建築戸数は14,744戸で全戸数の約4.9%です。

○アンケートの「耐震診断を受けない理由」(複数回答)の回答

- ・自宅が地震に強いとわかっている約29.0% (H24 20.2% → H27 29.0%)
- ・借家だから約13.3% (H24 9.0% → H27 13.3%)
- ・建て替える予定だから約2.1% (H24 2.7% → H27 2.1%)
- ・リフォームする予定だから約1.8% (H24 1.5% → H27 1.8%)

全県で行った耐震診断数や新規住宅の建築戸数は年々増加しています。また、アンケートの「耐震診断を受けない理由」の回答として、「自宅が強いとわかっている」等が増加しており、耐震対策が進んでいることが伺えますが、耐震診断の啓発が必要であると考えられます。

耐震補強の実施（耐震診断を受けた人）

Q 耐震診断を受けた方は、ご自宅について、耐震補強を実施していますか？

耐震診断を受けた人で耐震補強を実施した人は41.3%と前回調査と比べ急増しています。県および市町村で実施している木造住宅の耐震化への施策の効果が現れています。

	H19	H22	H24	H27	H27全県域
耐震補強している	10.9%	16.1%	19.9%	41.3%	39.2%
耐震補強を具体的に予定している	1.8%	2.3%	6.0%	4.0%	3.2%
耐震補強をいずれ予定している	0.0%	0.0%	-	7.9%	9.6%
耐震補強の予定はない	54.5%	59.8%	74.1%	42.9%	45.6%
未定	12.7%	18.4%	-	0.0%	0.0%
無回答	20.0%	3.4%	0.0%	4.0%	2.4%

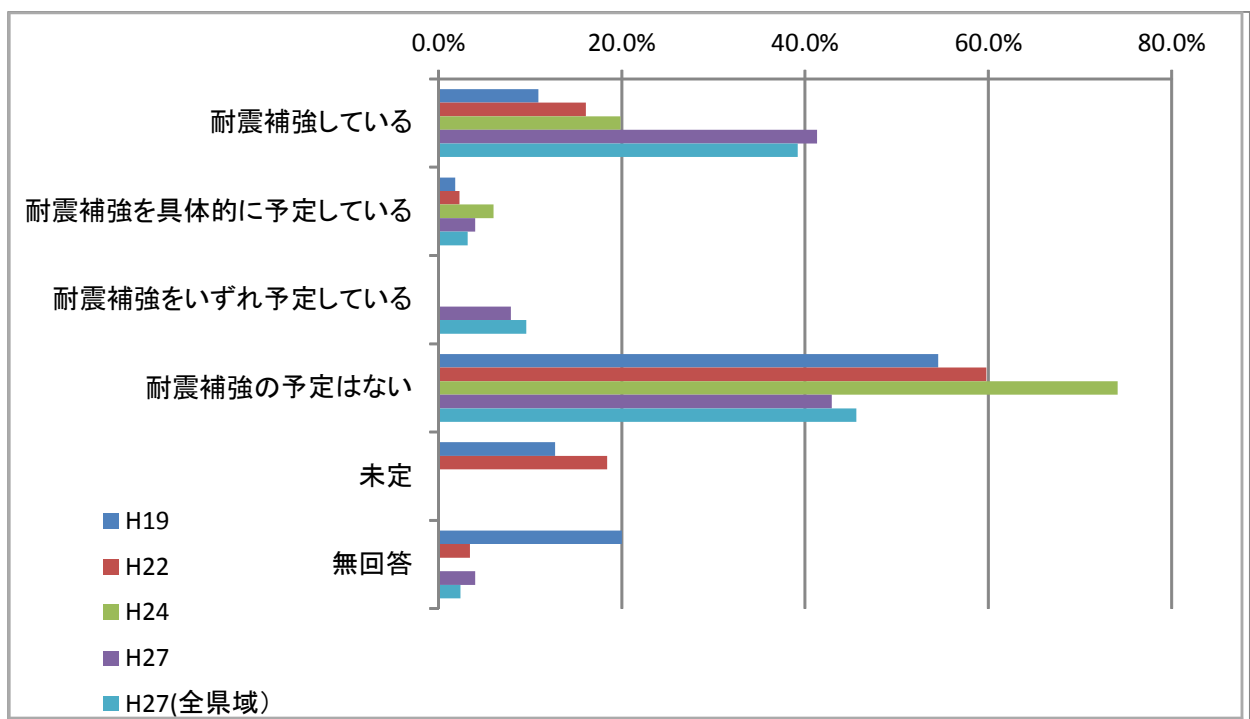
※H16データ無し

※H19, H22：木造で耐震診断を行い補強要と診断され、補強した数字

（母数は木造家屋・診断した家庭）

注意）診断で補強要とされ無くても補強している可能性は残る

※H24, H27：耐震診断を受け、補強した数字（母数は診断した家庭）



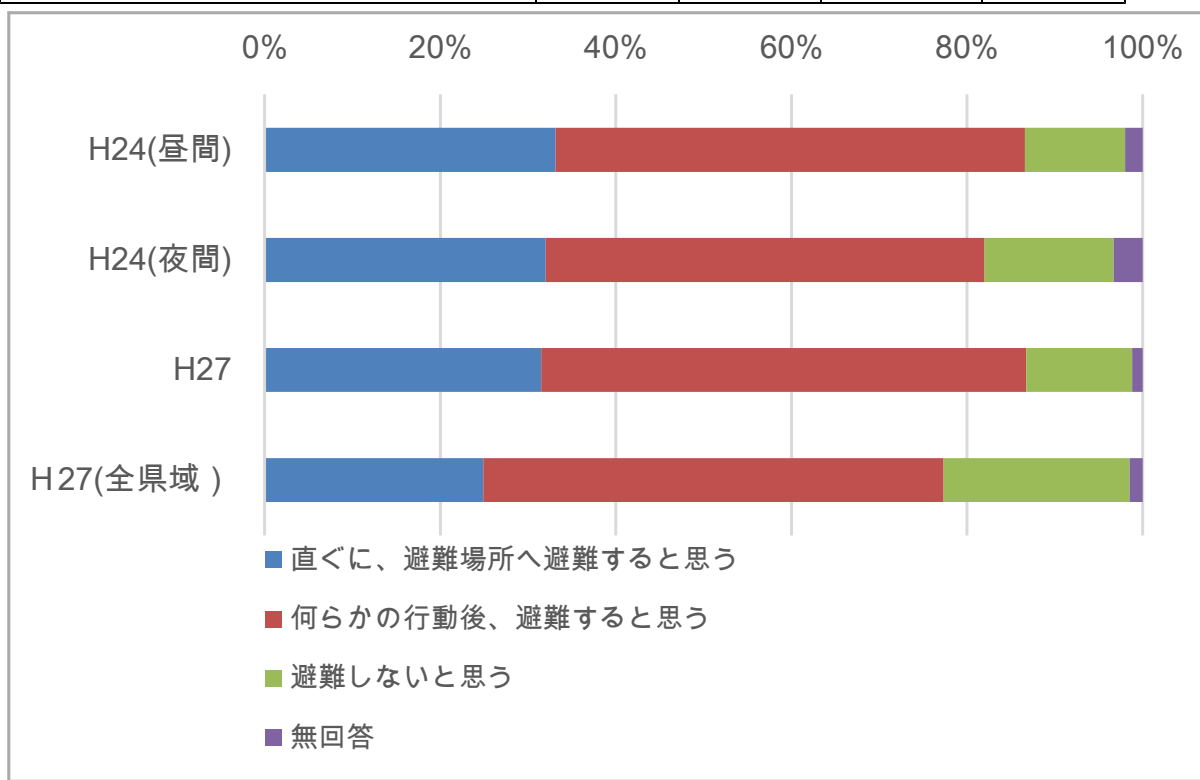
率先避難

Q 巨大地震が起こったらすぐに避難しますか？

「すぐに避難場所へ避難すると思う」と回答した人は、31.3%となっています。前回調査と比べて同水準となっています。

※平成27年度は全ての時間帯を想定。

	H24 (昼間)	H24 (夜間)	H27	H 27 全県域
直ぐに、避難場所へ避難すると思う	33.1%	32.0%	31.3%	24.9%
何らかの行動後、避難すると思う	53.4%	50.0%	49.5%	52.5%
避難しないと思う	11.4%	14.7%	18.0%	21.2%
無回答	2.0%	3.3%	1.2%	1.5%



県や市町村に期待する地震防災対策

Q 県や市町村にどのような地震防災対策を望みますか？

延べ 8 2 4 件の直接記入によるご回答をいただき、ご意見の内容ごとに分類させていただきました。具体的な項目で最も多かったのは「災害情報の正確かつ迅速な伝達」が 1 3 6 件、次に「防災に関する周知・広報活動」が 1 1 9 件と県民が災害に関する情報、防災に関する知識を求めていることが現れています。

※平成27年度調査（全県域）

（件）

正確・迅速な災害情報の伝達	136
防災に関する周知・広報活動	119
訓練・講演会・研修の開催	110
避難所・避難場所の整備・充実	93
道路・河川・堤防などインフラの整備	86
備蓄・支援物資の充実	78
自主防災組織の組織化など	54
ライフラインの整備・早期復旧	31
耐震診断の補助	18
その他	99
合計(件)	824

